



1年振りの遊戯室での誕生会

5月24日(金)に1年振りに新園舎遊戯室で4月と5月生まれの子どもたちの誕生会を実施しました。昨年度は旧園舎で学級ごとにしていましたが、やはり、一同揃っての誕生会はいいものです。

名前を呼ばれてステージに上がる時、年長さんは慣れたもので手を振って喜びを表していましたが、初めて大勢の前に立つ年少さんの中には、困惑、緊張、恥ずかしさなどが入り混じって、普段の元気はどこへ行ったの?というような子もいました。

誕生会の楽しみの一つは、先生によるプレゼントでしょう。パネルシアターで子どもたちの気持ちを和らげます。先生たちも慣れたもので、1~2日前に練習をしたぐらいで、上手に演じますから、手前味噌ですが、いつも素晴らしいなと感心して見えています。先生自身が、子どもの背丈に合わせて大きな声と動作で演じますから、子どもたちも直ぐに引き込まれ、和やかな雰囲気の中で、楽しいゲームができました。

また、石室屋先生による素話「チブがお日さまのところへいくとき」も身振り手振りで、豊かな声を出して話していただきましたので、子どもたちは、みんな話に引き込まれていました。みんな聞き上手でした。



最近の事件事故に備えて

大津市の保育園児に突っ込んだ車による事故、川崎市の変質者による殺傷事件、昨日は市内早良区で高齢者による交通事故と、連日、子どもを取り巻く社会が不安で一杯です。私たちにできることは、どんな時にも子どもから目を離さないということです。

そこで、バス利用の保護者の皆さんには、停留所待の間、話に夢中になってお子様から目を離すことがないように。ロータリーや歩きの保護者の皆様には、車が突然飛び込んできたりしますから、周辺の車の動きや不審な動きをする人物に十分気を付けてください。歩きの保護者の方は、青信号点滅や黄色信号の時は、無理をして横断しないようにお願いします。

お芋やお米が、たくさんな~れ

5月末に年中さんと年長さんの今年度の栽培活動が始まりました。年中さんは、胡瓜、トマトの栽培に



続き、28日に秋の収穫を目指して、一人一袋の芋の栽培が始まりました。子どもたちは、重い土の袋もおもちゃのリヤカーを上手く使いこなし、袋を落とさずに上手に運んでいます。日常の遊びでリヤカーを使いこなしていた成果が、こういう時に発揮されたんだなと感心したものです。先生の指導で、釘で袋に穴を開け、水の通り道を作ります。そして、苗を植えました。植えた2~3日後の苗は、どの苗も葉の部分が萎れてしまい、心配しましたが、茎がしっかりしていると育つということでした。それから数日後、子どもたちが登園するとすぐに水を与えていますので、葉もしっかりし、茎も太くなっています。秋の収穫まで、水やりを頼みますよ。

年長さんは、5月末に、籾をプリンカップに入れて苗を育て、6月に入って、一人一バケツに苗を植えました。これから11月の収穫祭までの長い間、八十八の手をかけた米作りの始まりです。米の場合は、水の温度管理が大変です。バケツの底に穴を開けていないために、気温が上昇するとバケツ内の水温が上り、煮えたような状態になります。熱湯にならないように、朝昼の水の管理が必要だとか。本園の栽培活動に水は欠かせませんので、栽培活動やロータリーの花の水やりには、上水道ではなく、井戸水を使用する仕組みにしています。芋作りや米作りの活動を通して、生命の尊さに気付いたり、自然事象への関心を高めたりして欲しいのはもちろんですが、少し高度な知的側面になります。植物が育つ条件にも関心を持って欲しいと願っています。

保護者の方も、来園の折に、子どもたちが育てている芋や稲の様子をご覧いただくとありがたいです。

